

# GIS等を活用した広域的なサル対策の取組 —京都府—

## 【基礎情報】

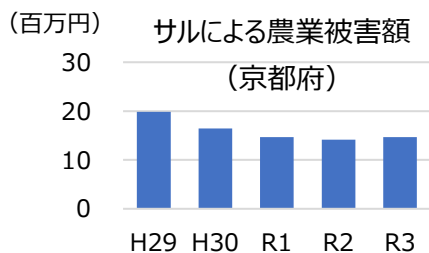
- 位置 京都府福知山市、綾部市、京丹波町



- 主な対象獣種  
サル

- 活用した技術
- GIS（サルイチ）
  - ICTわな（クラウドまるみえホカケン）
  - ICT電圧測定器（ゲッターモニタリングシステム）

- 地域の状況
- 区域内には6～7群のサルの群れが生息しており、市町境を越えて行動する群れもいるが、これまで連携した対応を取れておらず、3市町では継続的に対策を実施してはいるものの、被害額の減少には至っていない。



## 【取組内容】

### Plan：計画

- GIS等のICTを活用した対策について、府・市町間で認識共有及び地域住民へ説明
- 地域のサルの被害の現状を把握
  - 活用するICT機器の内容や地域での活用手法を共有（電圧測定器を活用したサル侵入箇所の特定制等）
  - サルイチへの目撃位置情報の入力について協力要請



研修資料



研修状況

### Action：改善

移動ルートに合わせた効果的な捕獲について情報共有し、今後の対策の改善に活用。なお、電圧測定器に変動をもたらすサルの侵入は確認されなかった。



対策の啓発



情報共有の様子

### Do：実行

ICT捕獲機器やICT電圧測定器等を用いた**効率的な対策の実施**



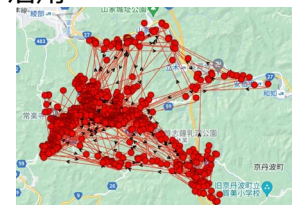
ICT捕獲おりの設置



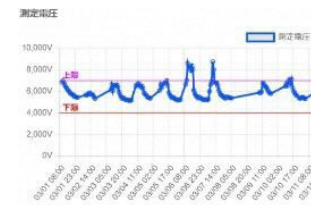
ICT電圧測定器の設置

### Check：点検

- データを活用し、対策の効果を分析し、課題を検討
- 移動ルートを可視化するために、**GISにサルの目撃位置情報を反映し**、対策を行うべき箇所を明確化
  - 電気柵の電圧の変動を可視化し、適切な維持管理に活用



目撃情報をGIS上に反映



電圧測定結果

## 【取組の成果及び評価】

- 目撃情報をGIS上にまとめて蓄積することで時系列的な移動ルートを把握した上で、ICT捕獲おりの設置位置を決定し、捕獲方法や餌付けについての研修と組み合わせることで効果的な捕獲対策の素地を作ることができた。
- 効果的な取り組みを広域的に展開する見通しが立った。

## 【今後の展望、取組の普及方針】

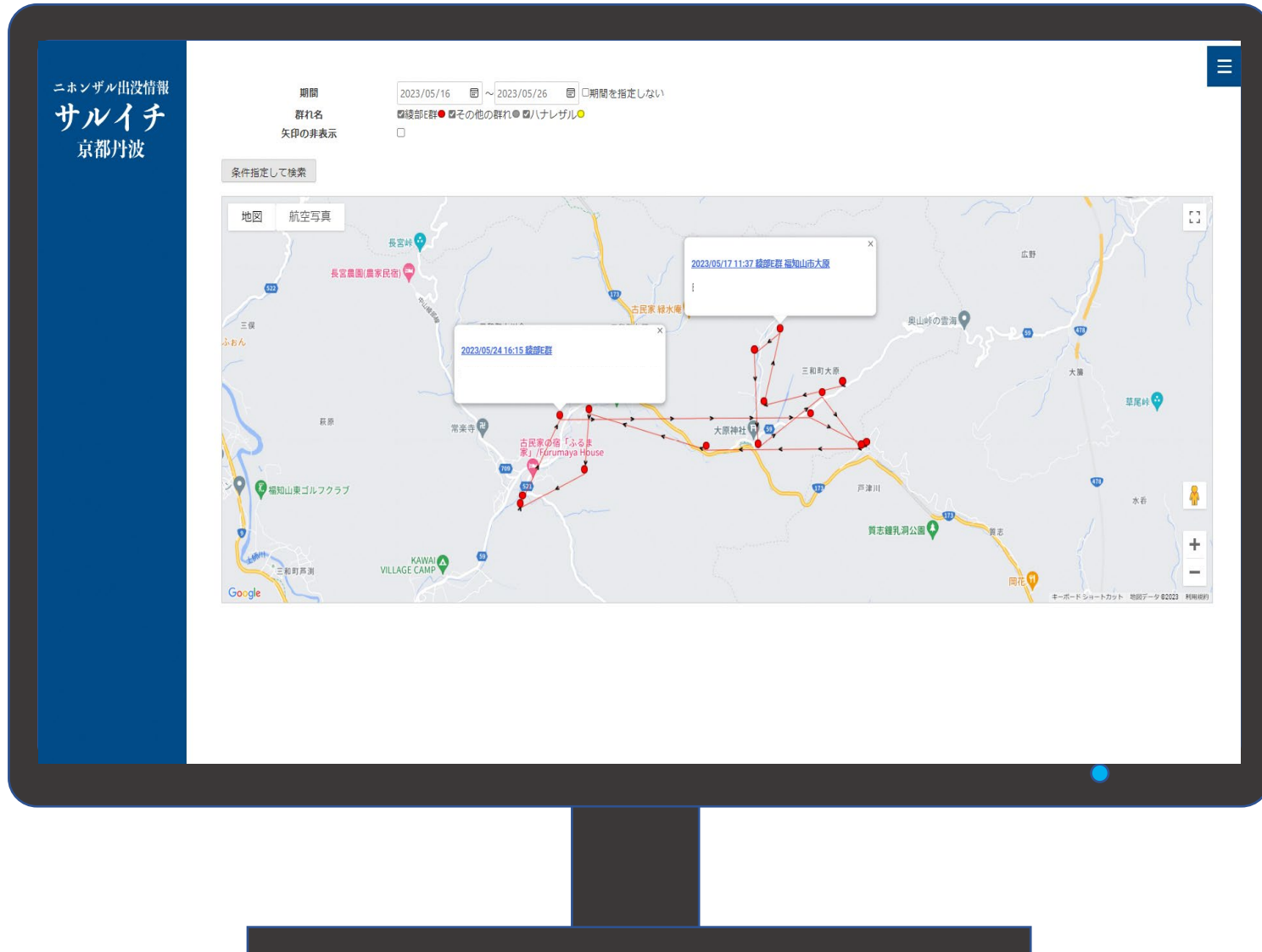
- 本事業をモデルとし、府内の他のサルの管理ユニット会議で情報共有することで、市町村間の連携強化、ICTを活用した計画的な個体数管理や被害防止対策の検討、実施した対策の効果検証の体制構築を図る。

# GIS等を活用した広域的なサル対策の取組 ー京都府ー

## 参考：GIS画面イメージ

●→ サルの位置情報

※ 時系列的にサルの個体群の移動経路を把握することができ、計画的な追払い活動が可能になる。



参考URL： <https://kyoto-tamba.saruichi.com/>